

天溪 2019 年「チロルとドロミテハイキング 10 日間」

「チロルとドロミテハイキング 10 日間」を9月2日～9月12日に行いました。

今年も 400 年以上の歴史を誇るミュンヘンのビヤホール、ホフブロイハウスで乾杯してからチロルの旅をスタート。初日はムッターベルグのハイキング。続いてブレンナー峠を越えてイタリア入り。今年は少し計画を変え、牧歌的な風景で有名なアルペ・ディ・シウジを楽しんでからサッソルンゴへ。ところがこれまで快晴だった雲行が怪しくなり、翌日から雨模様。ドライチンネは小雨、フランツヨーゼフヘーエに至っては峠が降雪で閉鎖も有るとかで中止。その後も雨空は止まず、ザルツカンマーグートの初日は計画を変えて塩坑見学、そしてハプスブルク家の別荘が有るバドイシュルでティータイム。漸く晴れてシャーフェルクは太陽を浴びながら映画サウンドオブミュージックの雰囲気になりました。



(サッソルンゴ 9月5日)

○チロルへ

バスでミュンヘンからインスブルック入り、と言っても2時間程度のドライブで到着です。ホテルはモーツァルトやゲーテが泊まったという470有余年の歴史を誇るホフブロイハウス並みの歴史的ホテル。ここを起点にシュトバイタールのスキーリゾートでイタリア国境近くのムッターベルグでハイキングをしました。



(ムッターベルグ 9月4日)



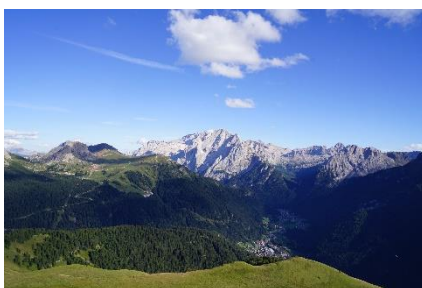


○アルペ・ディ・シウジからサッソルンゴ

募集段階では 10 名様のご希望が有りましたが何故かキャンセルが発生し、結果的に 5 名の少人数でツアーを催行。前回のピレネーツアーと大違い。少人数は小回りが利くのでサッソルンゴ山塊に行く途中で旅程を少し変え、牧歌的な高原が広がるアルペ・ディ・シウジに出かけました。シウジ・アム・シュレーンからロープウェーでコンパッチョに登り、ブラッチアを一周してから次の目的地のサッソルンゴへ。翌日から天気が下り坂と予報が有り、イタリア名物プロシュートとワインで晴天祈念をしました。



(アルペ・ディ・シウジ 9 月 5 日)





○コルチナ・ドライチンネ

飲みが足りなかったのか昨日の祈念もむなしく朝から天気は荒れ模様。ポルドイ峠に到着するも雨は中々止まず、車で反対側のフェダイア湖に下りコルチナへ。高級リゾートのコルチナも雨に煙り何となく浮かぬ模様。翌日はミウズリーナ湖を経てオーロンツォ駐車場に車で登り、時計回りにドライチンネを進みました。雨量は大したことは有りませんでしたが雲が立ち込め暗い空模様。落胆していると急に雲が切れ三つの巨大岩峰(ドライチンネ)が姿を現してくれました。



(ドライチンネ 9月7日)



○映画サウンドオブミュージックのロケ地、シャーフバルク

イタリアから再び国境を越えオーストリアに入り、フランツヨーゼフヘーエに向かいましたが峠が雪で閉鎖される心配から直接ザルツカンマーグートのゴーザウへ。この地は湖水と教会で有名な世界遺産のハルシュタットが有る所。翌日も天気はすぐれず予定を変えて塩坑見学。ここは 7000 年以上前から塩の採掘が行われていたとかで、今もお掘り続けているそうです。因みに、ハルシュタットのハルはケルト語で塩を意味が有るとか。翌日は漸く雨が上がり久し振りに快晴に。映画サウンドオブミュージックの舞台にもなったシャーフバルクに蒸気機関車で登り、そこから眼下に青く浮かぶボルフガン湖を眺めながら途中駅迄ハイキングを楽しみました。



(ドライチンネの朝 9月4日)



※ハルシュタット、塩坑、シャーフベルク、そしてザルツブルクは中国の観光客であふれていました。アメリカが増税を持って貿易戦争を仕掛け、中国経済は下降線などとニュースに有りますが、この地に於いてはそんな事はどこ吹く風で、凄まじいチャイニーズパワーでした。 まあ、大阪の道頓堀以上です、日本の皆さん頑張りましょう！

○モーツァルトのディナー&コンサート

旅の最後は世界遺産の街ザルツブルグへ。モーツァルトの像はじめ市内を散策し、夜はホーエンザルツブルグ場内でモーツァルトのディナー&コンサートを楽しみ、変化に富んだ旅を締め括りました。



この後の天溪ツアーは以下の様に催行されます。

- ☆ 「秋葉カナディアンロッキーとオーロラ9日間」 9月17日～9月25日
- ☆ 「インカ道マチュピチュとナスカ地上絵12日間」 9月30日～10月11日
- ☆ 「アンナプルナ内院13日間」 11月6日～11月18日
- ☆ 「パタゴニア パイネとフィッツロイ15日間」 11月28日～12月12日

天溪 赤沼